



平成22年 4 月27日

各 位

会 社 名 株式会社セブテーニ・ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 佐 藤 光 紀
(JASDAQ コード番号 4 2 9 3)
問合せ先 常務取締役 清 水 一 身
(TEL. 03 - 5363 - 7340)

当社子会社（アクセルマーク株式会社）の業績予想の修正等に関するお知らせ

当社の連結子会社であるアクセルマーク株式会社は、平成21年11月 5 日に発表した平成22年 9 月期第 2 四半期累計期間及び通期の業績予想の修正等につきまして、別紙のとおり発表いたしましたのでお知らせいたします。

なお、当社も本日付で平成22年 9 月期第 2 四半期累計期間の連結業績予想を修正いたしました。詳細は、本日付開示資料「平成22年 9 月期第 2 四半期累計期間連結業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ」をご参照下さい。

以 上



平成 22 年 4 月 27 日

各 位

東京都新宿区西新宿六丁目 24 番 1 号
 会 社 名 アクセルマーク株式会社
 代表者名 代表取締役社長 小林 靖弘
 (コード番号: 3 6 2 4 東証マザーズ)
 問 合 せ 先 取締役経営管理部長 渡邊 祐也
 (連 絡 先 03-5324-2440)

業績予想の修正並びに特別損益の計上に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向を踏まえ、平成 21 年 11 月 5 日に発表いたしました平成 22 年 9 月期第 2 四半期累計期間並びに通期業績予想を下記の通り修正いたします。

また、当第 2 四半期において特別利益並びに特別損失を計上する見込みとなりましたので、併せてその概要をお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 平成 22 年 9 月期第 2 四半期累計期間業績予想の修正

(平成 21 年 10 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 700	百万円 5	百万円 2	百万円 2	円 銭 69.26
今回修正予想 (B)	733	33	29	6	207.78
増減額 (B - A)	33	28	27	4	—
増減率 (%)	4.7	560.0	1350.0	200.0	—

(2) 平成 22 年 9 月期通期業績予想の修正

(平成 21 年 10 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 1,400	百万円 10	百万円 5	百万円 5	円 銭 173.15
今回修正予想 (B)	1,400	40	33	10	346.30
増減額 (B - A)	—	30	28	5	—
増減率 (%)	—	300.0	560.0	100.0	—
(参考) 前期単体実績 (平成 21 年 9 月期)	2,759	△46	△53	△457	△15,872.26

- (注1) 当社は、平成 21 年 4 月 1 日付で当社のメディアプランニング事業を新設分割の方法によって 100%子会社である株式会社メディアグロウへ承継しておりましたため、前期（平成 21 年 9 月期）第 3 四半期より連結決算を採用しておりました。従いまして、上記の前期参考値は、前期の単体実績を記載しております。（なお、平成 21 年 9 月 30 日付で連結子会社であった株式会社メディアグロウの株式をすべて売却したため、今期より単体決算に戻っております。）
- (注2) 上記の通り、当社は前期第 3 四半期よりセグメント開示を行っており、前期第 2 四半期における既開示の実績数値は、後に株式会社メディアグロウへ承継する、メディアプランニング事業の実績を含んだ数値であることから、適切な比較数値としないため、記載しておりません。

2. 業績予想修正の理由

モバイルコンテンツを取り巻く市場環境が急速に変化する中、当社は、平成 22 年 9 月期において収益基盤の強化、不採算サイトの整理並びに新規事業への挑戦を経営方針として事業を推進して参りました。

<平成 22 年 9 月期第 2 四半期累計期間>

売上高については、課金数の減少に伴う一定比率の売上減少はあるものの、業績予想を達成できる見込みであります。営業利益及び経常利益については、サイト運営にかかる原価削減や販管費の見直しを積極的に行った結果、前回予想を上回る見込みであります。また、当期純利益については、後述の「3. 当第 2 四半期における特別利益の計上について」並びに「4. 当第 2 四半期における特別損失の計上について」で記載の通りの特別損益の計上を踏まえましても、なお前回業績予想を上回る見込みであります。

<平成 22 年 9 月期（通期）>

売上高については、既存会員の退会防止策を推進すると同時に、新規サイト開発による新たな会員の獲得を目指します。しかしながら、新規サイト開始による今期収益への影響は限定的であると想定し、前回業績予想を据え置くものといたします。一方、営業利益及び経常利益については、第 3 四半期及び第 4 四半期も継続して原価削減や販管費の見直しを行うことから、前回業績予想を上回る見込みであります。その結果、当期純利益についても、後述の「3. 当第 2 四半期における特別利益の計上について」並びに「4. 当第 2 四半期における特別損失の計上について」で記載の通りの特別損益の計上を踏まえましても、なお前回業績予想を上回る見込みであります。

3. 当第 2 四半期における特別利益の計上について

(1) 貸倒引当金の戻入益 19,635 千円

当社は、平成 21 年 8 月 3 日付「債権の取立不能又は取立遅延のおそれに関するお知らせ」並びに平成 21 年 11 月 5 日付「債権の取立不能又は取立遅延のおそれに関するお知らせ（追加報告）」にてお伝えしております通り、アーティストサイトの共同運営先である株式会社マスターワーク（以下、「マスターワーク」）より、サイト運営にかかる供託金等の回収を進めております。

回収方法のひとつとして、アーティストサイトにおいて得られるサイト収益を当社内に留保することでマスターワークからの回収原資としておりますが、当該収益の現状は、平成 21 年 11 月 5 日時点で算出していた収益計画を上回っており、回収可能金額が増加する見込みであります。

よって、現在の収益状況を鑑み、当第 2 四半期において 19,635 千円を貸倒引当金戻入益として特別利益に計上いたします。

(2) 新株予約権戻入益 3,399 千円

当社は、平成 21 年 12 月 16 日に開催された株主総会の終了をもって、取締役 3 名が退任してお

ります。この3名が保有しておりました新株予約権について、放棄の申し出を受けておりましたので、会計監査人とも協議の上、同3名に対する新株予約権については、以後費用計上を行わないこととし、当第2四半期において計上済の費用3,399千円を新株予約権戻入益として特別利益に計上いたします。

4. 当第2四半期における特別損失の計上について

(1) 事業損失引当金の繰入 35,341千円

当社は、「動画」コンテンツを注力すべきジャンルと位置づけているものの足元のケータイ動画市場拡大のスピードは緩やかなものであることから、平成21年11月5日付「特別損失の計上ならびに業績予想と実績との差異に関するお知らせ」にて開示しております通り、一部権利元と締結している複数年の権利許諾契約について、事業損失引当金の計上をしておりました。

当社はその後も、将来のケータイ動画市場の本格的な拡大に備え、「動画」コンテンツ事業に邁進してまいりましたが、ケータイ動画市場の拡大は引き続き想定よりも緩やかな状況にあります。

このような事業環境を踏まえますと、コンテンツ権利獲得のために権利元へ支払う前払費用に関して、回収不能と見込まれる金額が増加するものと判断し、当第2四半期において事業損失引当金の繰入35,341千円を特別損失として計上いたします。

(2) 固定資産の減損損失 2,624千円

当社は、不採算サイトを整理・統合することで費用削減に努めておりますがその一環として、当社が運営する一部のサイトに関連するソフトウェア及びシステムに関して、固定資産の減損損失2,624千円を特別損失として計上いたします。

以上

■本件に関するお問合せ先

アクセルマーク株式会社

経営管理部 IR担当

【TEL】03-5324-2445 / 【email】ir@axelmark.co.jp